

実際に起こりうるこの経験ができて、参加者の方々も防災意識が高まり、よい体験ができております。



町会の防災研修では、東日本大震災と新潟県中越地震の実際の揺れを再現した装置で、それぞれの違いを実体験でき、また暴風体験、消火器を使った初期消火体験と実際に起こりうる

牛浜第二町会は牛浜駅東口に隣接し、約1000世帯が暮らしています。町会内に、第三小学校、市営球場、市民会館、さくら会館、福生公園などの施設があり、人が集まる地域になっています。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、町内行事ができなくなりましたが、他に何かできないかと思いい、令和2年度は清涼マスクと市指定ごみ袋、令和3年度は非常食と市指定ごみ袋を町会員全戸に配布し、感染症への注意喚起や防災意識の向上に努めました。

支えあい

災害に備えて

②牛浜第二町会

会長 仲間 正司



○消火器を使った初期消火訓練



○令和元年度防災研修に参加された皆さん

AE Dの講習は、毎年繰り返し行い、いざというときに誰でも使えるようにと訓練を行っています。

他には年1回、福生警察署から講師を招き、防犯講習を行っています。ここ数年は特殊詐欺について最近の動向の説明のほか、実際に実演を交え、とても身になる講習を行っていただいています（実演では多くの方が騙されてしまいます）。防災活動としては、年1回福生市消防団第四分団の方々に講師に招き、救命救護講習を行っています。会館にも設置してある

本町第八第一町内会は福生駅から産業道路に通じる富士見通りの北側に位置する町会です。当町会では、防犯活動として毎月20日に夜間パトロールを行っています。毎回15名以上の方に参加していただき、町内全体約4キロを拍子木を叩きながら（ウォーキングが目的だったりおしゃべりが目的だったりする方もいらっしゃいますが）1時間をかけ巡回します。

支えあい

地域を見守る活動

③本町第八第一町内会

会長 飯島 尊士



○消防団員の指導による救命救護講習



○福生駅前の防犯パトロールの様子